

2012年度 大阪協会事故防止講習会報告

オープン大会の表彰式の後、昨年に引き続き事故防止講習会が行われました。海上保安庁のスタッフの方をお招きして、救助法や自動膨張式救命具の使用方法などをレクチャーしていただきました。救助法や救命具の緊急時使用法は、出来れば釣り場で「実践したくない」ことではありますが、いざというときに「役立つかもしれない」のもこの講習です。意外に忘れていることも多く、できれば毎年定期的に通講する方が良いと思いました。以下、アルバム形式にて、当日の講習会の様子を報告させていただきます。

～緊急時救助法～



砂浜に集まって、いよいよ講習の始まりです。



海上保安庁の方が講師を務めてくださいました。



強靱なスタッフが勢ぞろい！！



まずはお決まりの「玉網」での救助。



クーラーボックスも、手近な救命具です。



水を入れたペットボトル。水を少し入れると投げやすくなります。



もちろん、浮き輪もOK(笑)



ランドセルまで使えちゃいます。



ボールをビニール袋に入れて、ロープをつけます



子どもさんや釣りガールさんも参加！！

～自動膨張式救命具使用法～



肩掛け式の装着法と……



転落した際の膨らませ方。



海上保安庁のヘリが、関西空港から応援にかけつけてくれました。



事故防止委員長の高津さんもこの通り。



最後は全員で記念写真をとりました。

講習に参加された皆さん、釣行の後ということで本当にお疲れ様でした。折角受けた講習です。しっかりと頭に入れておいて、いざというときのために備えておきましょう。

投げ釣りニュースキャスター 矢野圭延

昨年に続き、大阪協会事故防止講習会を大阪海上保安監部並びに岸和田海上保安署のご協力を得て開催いたしました。講習内容はライフジャケット着用しての転落の実演、ライフジャケットの代用品を使用した救助方法などユーモアをまじえての熱演？に参加の皆様も大変喜んでおられました。

安全な釣行と無事な帰宅はみんなの願いです。今回の講習内容を胸にしっかりと刻み、海難事故防止の推進に努めていただきたいと思います。最後に、大阪海上保安監部並びに岸和田海上保安署の皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会 会長 池田譲治